

月刊 まつなみ

平成20年
5月号
No.103



写真:医事課 加藤 康昭

声かけと
笑顔で
やさしく
心の医療

春の歌

河原で雲雀の鳴く頃は

うらら うららと 日はうらら

乳牛舎の牛さえ みなうらら

鶏舎の鶏さえ みなうらら

畑に菜種の咲く頃は

うらら うららと 日はうらら

渚の砂さえ みなうらら

どなたの顔さえ みなうらら

理念

私たちは、地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する

基本方針

私たちは、地域中核病院を有する法人として、医療環境の変化に対応し、質の高い保健・医療・福祉サービスの提供を通して、地域社会と共に発展をめざします

私たちは、患者様や利用者の方のプライバシーを守るとともに、権利を尊重し、根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供できるよう努力します

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図ることにより、職員の仕事が安定し、職員の生活が安定し、向上するよう努力します

目次

- 医療最前線
脳梗塞の治療?内膜はがし再発予防と負担軽いステント留置?
- 笠松友の会のお花見
- 特定健診・特定保健指導がはじまります
5月のお知らせ
- 外来基本診療体制

松波総合病院ホームページ

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>

脳卒中センター長 澤田元史

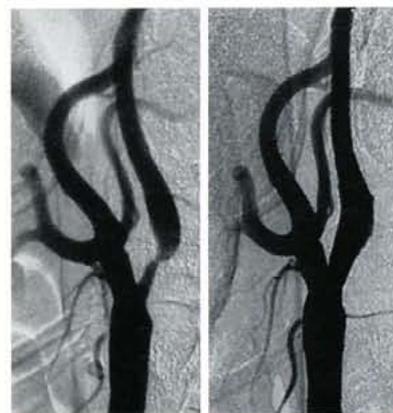
4月より松波総合病院脳卒中センターに赴任して参りました澤田元史です。今後、羽島地区の脳卒中予防・診療に努めて参りますので、脳卒中のことで少しでも気にされていることがありましたら、どうぞ皆様お気軽に御相談下さい。

さて今回はこの場をお借りして、平成20年4月1日より保険適応になったばかりの頸動脈を広げる新しい治療法である頸動脈ステント留置術と同じ疾患への古典的な手術法である頸動脈内膜剥離（はくり）術について紹介致します。

最近の食生活の欧米化を背景に日本人に増えているアテローム血栓性脳硬塞が今回の話の対象です。アテローム血栓性脳硬塞とは、首や頭部の太い血管で動脈硬化が進行し、血中のコレステロールが付着してかゆ状の粥腫（じゅくしゅ）ができて血管の内膜が厚くなり、その結果脳への血流が悪化し最後には詰まっていきます（下図左側）。あるいは、詰まる前に粥腫の破裂が元でできた血栓が脳内の血管に流れて行って詰まる恐れもあり、流れていった血栓で一時的に脳の血管が詰まった場合には短時間で症状が消える場合が多いので要注意ですが、放置していると重篤な症状を伴う脳硬塞につながる危険性があります。松波総合病院では、アテローム血栓性脳硬塞の再発予防のため、血管の詰まっている割合が半分以下なら抗血小板薬の内服で経過観察とし、半分以上詰まっていれば薬物療法に加えてこれから説明します内膜剥離術あるいはステント留置術をお薦めしています。

アテローム血栓性脳硬塞が最も起こり易いのが頸動脈で、その内部が狭くなったときに内膜剥離術を行います。全身麻酔下で狭くなった頸動脈に切れ込みを入れ、厚くなった内膜を手術用へらとピンセットで巧みにはがします。一方、同様の疾患で実施する4月から保険で認められた新たな治療法がステント留置で、カテーテルを使って網目状の金属製の筒（ステント）を患部に送り、カバーを引き抜くと見事に頸動脈が広がります（下図右側）。全身麻酔がかけられない患者さんにも局所麻酔でステントは留置できますから、より患者さんの体への負担が少なくて済む治療法です。

以上の2つの手術とも松波総合病院では施行可能ですので、患者さん個人個人に合わせて手術法を選択することができます。これらの手術を行うことによって脳硬塞再発の確率をうんと抑えることができますし、場合によっては脳硬塞の症状がなくても予防的に手術を行うこともあります。ですから皆様には、症状の有無に関わらず是非一度頸動脈病変の有無に関してお気軽に受診下さい。外来でできる簡単な検査で、その後の脳硬塞の発生を予防できます。



ステント前 ステント後

毎年恒例

笠松友の会のお花見



今年は4月上旬、岐阜グランドホテルの12階にて開催されました。桜は、前日の花散らしの雨により葉桜になってしまっているものもあり、満開の桜の下でのお花見というわけにはいきませんが、晴天に恵まれ、青い空に金華山・長良川の美しい景色を眺めながらお食事をいただきました。

私は新入職員として初めて友の会の活動に参加させていただきました。会の初めから終了まで、皆さん大変明るくにぎやかであり、笑顔が絶えないという印象を受けました。それぞれの近況報告など楽しい会話が飛び交い、初めての参加で緊張している新入りの私を温かく受け入れてくださり、大変嬉しく思いました。皆さんの明るい話し声と素敵な笑顔で、お料理もより一層おいしく感じられました。

窓からの美しい眺めに負けない、楽しいおしゃべりとおいしいお料理。「花より団子!」の楽しいお花見でした。

メタボリックシンドロームに着目した

特定健診・特定保健指導がはじまります

平成20年4月より

これからは、特定健診によって「メタボリックシンドローム」や「予備軍」となられた方に対し、生活習慣の改善と予防に向けた**保健指導**に重点がおかれます。

40歳～74歳の方は、加入している医療保険者（保険証に記載の保険者）が行う健診・保健指導を受けることになります。



これからの健診は加入している医療保険により変わります。

※ 詳しくは、ご自分の加入の医療保険者にお問い合わせ下さい。
政府管掌健康保険加入者は、お勤めの事業所にお問い合わせ下さい。

特定健診

これからの健診は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した項目で行います。

健診後、結果・質問項目から、生活習慣病のリスクに応じて「情報提供」・「動機づけ支援」・「積極的支援」の保健指導が行われます。保健指導は、**生活習慣改善**に重点をおいて行われます。

特定保健指導

動機づけ支援

原則1回面接を行います。今までの生活習慣について振り返り、一人一人に合わせた具体的な生活習慣の改善のために目標設定を考えていきます。6ヵ月後にどのように改善したのか話し合います。



積極的支援

面接により、今までの生活習慣について振り返り、一人一人に合わせた具体的な生活習慣の改善のために目標設定を考えていきます。1ヶ月毎に面接、電話、メールにより継続的に支援していきます。6ヵ月後にどのように改善したのか話し合います。

医療保険者の指定があった場合、当院にて特定健診・特定保健指導を受けられます。

当院での特定健診・特定保健指導に関する問い合わせ先 TEL：058-388-0111（代表）

特定健診： 松波総合病院（健診科） 内線 2173

特定保健指導： まつなみ健康増進クリニック（特定保健指導室） 内線 2817

5月 お知らせ

■ **糖尿病教室** ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

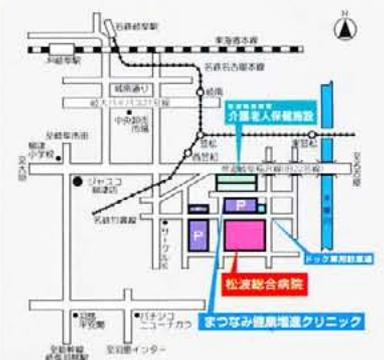
◎基礎コース…7日(木)、14日(木)、21日(木)、28日(木)

3階講堂にて 午後2時～4時

◎春の特別講演…10日(土) 3階講堂にて 午後2時～4時

◎毎週水、金曜日、5階病棟デイルームにて 午後1時～2時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。



交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院

バス専用バス
松波総合病院
タクシー20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院

バス専用バス
松波総合病院
タクシー15分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院

バス専用バス
松波総合病院